

全国地域情報化推進セミナー2009

in 京丹後



～ 京丹後発 ICTでよみがえれ地方の元気！ ～

ご案内

- 日時** 平成21年7月2日(木)～3日(金)
- 会場** 佳松苑 (京都府京丹後市網野町木津247番地)
- 主催** 全国地域情報化推進セミナー2009in京丹後実行委員会
(京丹後市、京都府、総務省近畿総合通信局、財団法人全国地域情報化推進協会)
- 共催** 近畿情報通信協議会 **後援** 総務省、ITコンソーシアム京都
- 参加料** 無料(ただし情報交流会の参加は3,000円、別途申込)
- 参加募集期間** 平成21年5月21日(木)～6月19日(金)
- 申込・お問合せ先** 全国地域情報化推進セミナー2009in京丹後実行委員会事務局
(財団法人全国地域情報化推進協会内)

ご挨拶

近年のICT（情報通信技術）の進歩と社会への浸透は、今までの予想を大きく上回る速度で日々の社会経済活動や日常生活を変えつつあります。ブログやSNSなどにより、住民が簡単に世界へ向けて情報を発信したり、携帯電話で電子マネーの利用やインターネットアクセスをするなど、ユビキタスネット社会が現実のものとなりつつあります。

わが国においては、2001年1月に「e-Japan戦略」を策定したことを皮切りに、いつでも、どこでも、誰でもICTの恩恵を実感でき、真にあらゆる分野における創造的かつ活力のある発展が可能となる社会の早期実現に向けて取り組んでいます。

総務省においては、2010年に世界最先端のICT国家として先導することを目標とする「u-Japan政策」を推進しており、また、今年3月には「デジタル日本創生プロジェクト（ICT鳩山プラン）-骨子-」を取りまとめるなど、国民がICTによる真の豊かさや安心・安全を実感できる環境整備を目指した取り組みが行われています。

今回のセミナーの開催地であります京丹後市は、近畿の最北部の丹後半島に位置し、「ひとみずみどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」を将来像に6町が合併して2004年（平成16年）4月に誕生しました。日本海に面する海岸線は、山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国立公園に全域が指定され、白砂青松とリアス式の岩礁といった風光明媚な景観が続いています。昨年12月には、本市域を含む山陰海岸ジオパークが、日本ジオパークの認定を受け、現在は「世界ジオパーク」への加盟に向けて様々な活動を進めています。

また、古代から大陸や朝鮮半島と交流が活発で、「古代丹後王国」の数多くの歴史遺産や丹後七姫伝説等が残され、伝統ある「丹後ちりめん」は現在も日本一の絹織物産地として知られています。今日では、新たに機械金属工業や観光産業がまちの発展を担うとともに、日本一おいしいとも評価される丹後米、ブランド化されつつある間人（たいざ）ガニや京野菜などの農水産物など恵まれた地域資源があります。さらに、百歳以上の高齢者が全国平均の3倍を超える健康大長寿のまちでもあります。これらの魅力を活かしながら、市民とのパートナーシップによる協働と共創のまちづくり、お互いに生かしあい、支えあい、助けあって生きることにあふれる、笑顔と喜びの「まほろば」「新・丹後王国」の創造を目指し取り組んでいるところです。

一方、大都市圏から遠方で市域も広く、ブロードバンドの民間整備が進まない条件不利地域にあることから、都市部との情報格差解消のため、平成19年度から市内全域を対象に光ケーブル網による情報通信基盤の整備に着手しています。今年12月には、地上デジタル放送や地域密着の自主番組が視聴できるケーブルテレビ、超高速インターネットのサービスが開始できる見込みです。併せて、地域産業の振興を目的とする地域ビジネスSNSの構築、有害鳥獣対策や地域資源流通への「ふるさとケータイ事業」の展開等、地域課題へのICTの利活用は都市部以上に重要な役割を果たすものとして積極的な推進を行っています。

そこで今回、全国の自治体及び企業の担当者、そして一般住民の方を対象としまして、地域情報化に関する国の施策、地方における電子自治体や地域情報化に関する先進事例などの情報を提供し、より一層の地域活性化と地域情報化の推進に寄与することを目的として、全国セミナーを京丹後において開催させていただくこととなりました。

本セミナーが、少子高齢化社会や今般の厳しい経済状況など、地方が抱える共通の課題をICTの利活用によって解決し、地方の元気が再生するよう、参加者の皆様方の情報交流の場となり、課題の解決の一助になるとともに、今後の相互連携を深めていただく機会となれば幸甚です。

平成21年7月

全国地域情報化推進セミナー2009 in 京丹後実行委員会

※ジオパークとは、地質学的に重要な地層や岩石の露頭（地層や岩石が直接見られる場所）および重要な地形など地質遺産を含む一種の自然公園で、「山陰海岸ジオパーク」は山陰海岸国立公園を中心とする京丹後市の経ヶ岬（きょうがみさき）から鳥取市の湖山池（こやまいけ）西端を含めた白兔（はくと）海岸までが対象で、日本列島がアジア大陸の一部であった時代の岩石から、今日に至るまでの経過が確認できる貴重な海岸です。

全国地域情報化推進セミナー 2009 in 京丹後 プログラム

～ 京丹後発 ICTでよみがえれ地方の元気! ～

≪ 1日目: 7月2日 (木) ≫		
13:30	受付開始	
14:00～14:20	開 会	開会挨拶 京丹後市長 中山 泰 氏 主催挨拶 財団法人全国地域情報化推進協会理事長 清水 英雄 氏
14:20～15:20 【60分】	基調講演	「メディア融合と地域情報化」 講師 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授 中村 伊知哉 氏
休 憩 【20分】		
15:40～16:05 【25分】	特別講演 1	「電子自治体の新たな展開について」 講師 総務省自治行政局地域情報政策室 室長 井上 知義 氏
16:05～16:30 【25分】	特別講演 2	「地域情報化施策（地域情報プラットフォーム関係等）」 講師 総務省情報流通行政局地方情報化推進室 室長 青山 忠幸 氏
休 憩 【10分】		
16:40～17:20 【40分】	事例紹介	「ケータイを利活用した地域情報化の事例紹介」 ①ふるさとケータイ事業による地域活性化の推進について 京丹後市企画総務部情報政策課長 吉岡 敬恭 氏 丹後通信株式会社 代表取締役社長 藤澤 政隆 氏 ②世界遺産 高野山 ケータイ観光オフィシャルサイト構築事例のご紹介 株式会社エヌ・ティ・ティ・コム関西支社 リュウシヨウ技術部長 三木 修 氏
17:20～17:35 【15分】	おしらせ	京丹後市のご紹介
17:35～17:40	初日閉会	閉会挨拶 近畿総合通信局長 稲田 修一 氏
18:10～19:30	情報交流会	

≪ 2日目: 7月3日 (金) ≫		
9:10	受付開始	
9:30～9:35	来賓挨拶	来賓挨拶 総務省政策統括官 戸塚 誠 氏
9:35～10:15 【40分】	特別講演3	「老後を一変する情報革命 ～おせっかいな人がICTの光と影を伝えよう～」 講師 東京大学先端科学技術研究センター交流研究員 近藤 則子 氏
休 憩 【10分】		
10:25～12:05 【100分】	パネルディスカッション	テーマ: 「ICTを活用した地域メディアによるコミュニティの活性化」 コーディネータ: NPO法人はりまスマートスクールプロジェクト 理事長 和崎 宏 氏 パネリスト: アクション・リサーチ 代表 高橋 明子 氏 パネリスト: 株式会社中海テレビ放送 専務取締役 高橋 孝之 氏 パネリスト: NPO法人京丹後コミュニティ放送 理事長 福永 孝宣 氏
12:05～12:10	閉会	閉会挨拶 京丹後市副市長 米田 保 氏 (セミナー実行委員長)

【お問い合わせ先】 全国地域情報化推進セミナー 2009 in 京丹後 実行委員会事務局

財団法人全国地域情報化推進協会 井上、沖 tel: 03-5251-0311 fax: 03-5251-0317

e-mail: seminar0702@applic.or.jp

	<p>温泉：</p> <p>源泉数は京都府内一を誇ります。特に、木津温泉は、京都府最古の天然温泉で、奈良時代の僧侶行基（ぎょうぎ）がシラサギが傷を癒しているのを見て発見しました。</p>
	<p>方格規矩四神鏡（ほうかくきくしんきょう）： 【国重要文化財】</p> <p>平成6年の春に、大田南古墳群（おおたみなみこふんぐん）5号墳（3世紀後半）から出土した「方格規矩四神鏡」は、青龍三年（西暦235年）の年号がある日本最古の紀年銘鏡です。</p>
	<p>丹後ちりめん（たngoちりめん）：</p> <p>京丹後市は「丹後ちりめん」発祥の地であり、日本一の絹織物産地です。着物のほか、スカーフ、化粧品、小物など、斬新なアイデアを取り入れた彩り豊かなお土産がいっぱいです。</p>
	<p>メロン：</p> <p>久美浜町、網野町で栽培される京丹後のメロンは、果肉がみずみずしく、さわやかな甘みと清涼感がいっぱい、市場でも高い評価を得ています。</p>
	<p>丹後産コシヒカリ：</p> <p>ブナの自然林を有する山々から流れる水に育まれ、丹後産コシヒカリは全国食味ランキングで西日本唯一の2年連続最高評価「特A」の評価を得ています。</p>
	<p>間人ガニ（たいざがに）：</p> <p>ズワイガニの中でも、間人漁港で水揚げされ、厳選された「間人ガニ」は水揚げ量が少ないことから“幻のカニ”とも言われています。漁場まで30kmと近く、日帰り漁が可能のため、鮮度の良さは抜群です。</p>
	<p>琴引浜（ことひきはま）： 【国指定天然記念物及び名勝】</p> <p>全長1.8kmに及ぶわが国最良・最大級の鳴き砂の浜です。</p> <p>人工物のない白砂青松の大変美しい海岸で、歩くと砂が振動することにより“キュッ、キュッ”と心地よい音で鳴きます。</p>
	<p>夕日ヶ浦（ゆうひがうら）： 【日本の夕陽100選】</p> <p>紺碧の海に白砂青松の浜が続く夕日ヶ浦。そのすべてを赤く美しく染め上げ、ゆっくりと夕日が水平線に沈んでいく風景は、名にふさわしく圧巻で、一見の価値があります。</p>
	<p>屏風岩（びょうぶいわ）：</p> <p>屏風のようにそびえる高さ13mもある奇岩で、北西にかけて小さい岩が5つほど海に浮かびます。夕日のスポットとしても人気です。</p>
	<p>久美浜湾（くみはまわん）：</p> <p>小天橋と称される砂嘴（さし）で湾口をふさがれた内海。</p> <p>実際は日本海とつながっており、長さ約6kmの遠浅の白浜が続く小天橋の西端にわずか30mほどの水路があります。</p>
	<p>立岩（たていわ）：</p> <p>周囲1Km、日本でも数少ない玄武岩の自然岩で、直線的で荒々しい岩肌に白い雪が降ると、美しい自然の芸術が目の前に現れます。季節ごとの違う表情が魅力です。</p>